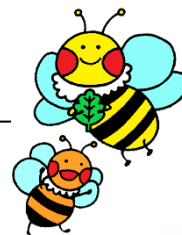




いぶき

【目指す児童像】自立・自律に向かい成長する子

令和6年1月9日
柏市立柏第八小学校
学校だより第9号



新年あけましておめでとうございます。

本年もよろしく願いいたします。



ほんとうはいい子…

先日、映画「窓ぎわのトットちゃん」を観てきました。ご存じの方も多いと思いますが、テレビで活躍している黒柳徹子さんが、ご自分の子ども時代を描いた自叙伝的物語が原作です。トットちゃん（黒柳さんの子ども時代の呼び名）は明朗快活な女の子です。ただし、少々元気がよすぎたようです。入学したての小学校1年生の時のことです。当時の机は天板が上に開閉できたそうで、トットちゃんはそれが楽しくて、授業中に100遍くらいパタンぱたんと開け閉めしたり。授業中に窓際に立って、往来のチンドン屋さんを呼び込み、学校の敷地内で演奏させてしまったり…。とにかく、好奇心旺盛で行動的なトットちゃんは、次から次へと問題を引き起こし（本人は悪気なし）、とうとう入学したばかりの小学校を退学になってしまいます。

困り果てた両親が「この子を理解して受け入れてくれる学校を」と探し当てたのが、「トモエ学園」でした。そこでトットちゃんは、小林宗作校長先生に出逢います。初めて校長室に入ったトットちゃん。校長先生は母親を帰し、トットちゃんと2人だけでお話をします。「何でも先生に話してごらん。話したいこと全部。」先生が言いました。ここぞとばかりにトットちゃんは話し続けます。小林先生はトットちゃんの話をもっと楽しそうに聴き続け、その後入学の運びとなりました。あらすじの紹介はこれくらいにしましょう。（興味のある方は続編も含めて書籍をご覧ください。）

私はこの本に登場する小林宗作校長先生を尊敬しています。なぜか。それは、一人一人の子どもを丸ごと受け止め、それぞれの特性を理解し、子どもたちが最大限成長するように支援するからです。常日頃から、小林先生はトットちゃんにこう声をかけました。

「君は、本当は、いい子なんだよ。」

教育も子育ても、最後はこの一言に尽きると思います。「その子を、大切な子、かわいい子、いい子」と思えるか（思っているか）。

我々大人はとかく子どものネガティブな部分に目が行きがちです。「落ち着きがない」「自分勝手」「優柔不断」「あきっぽい」「社交性に欠ける」などなど…。ある意味、仕方がないんです。その子を成長させたい、よくしたいという思いがあると、「もっともっと」と、育てている大人の側に欲が出るものなので。しかし、「困った子」とネガティブなレッテルを貼られ、「ちゃんとしなさい!」と否定的な言葉がけばかりされていたら子どもはどうなるでしょう。（ここは大人の想像力が問われるところですね。）答えは簡単です。「どうせ私なんて…」とネガティブな自己概念が形成されるだけです。

以前、あるお父様と面談をした際、こんなことをおっしゃっていました。

「子どもを叱りつけて、怒鳴りつけて、力で押さえつけようとして、いい結果になることは1度もありませんでした。」

それからというもの、そのお父様は、子どもの長所に目を向けて、ポジティブな声掛けを心がけるようになったとのことです。（勇気があり、意志の強いお父様だと私は思いました。）

「そんなこと言ったって、うちの子はほめるところなんてないんだから。」という声が聞こえてきそうですね。今日は、子どもを認める（ほめる）1つのコツをお伝えしましょう。「リフレーミング」という手法（考え方）です。直訳すると「見方（フレーム）」を「し直す（リ）」こと。物事を見直し「見方を変える」ということですね。

先ほどの例をもとに、「リフレーミング」してみましょう。

「落ち着きがない」→「活発・元気」 「自分勝手」→「意志が強く自分の考えをもっている」

「優柔不断」→「慎重・思慮深い」 「あきっぽい」→「好奇心旺盛」

「社交性に欠ける」→「自分の世界を持っている」

人間は、「自分が見たいように世界を見て」います。それぞれの見方には必ず「偏り（バイアス）」があります。逆に言うと、見方を変えれば違う世界が見えてくるということですね。

話を戻します。トットちゃんを退学させた学校の先生と、トモエ学園の小林校長。同じトットちゃんを見ながら、全く別の評価をしていましたね。「どうしようもない困った子」と「本当はいい子」どちらが正しいのでしょうか。どちらが正しいかと言われれば、両方正しいのかもしれませんが。（現にトットちゃんはトモエ学園入学後もいろいろとやらかしていますので…）ただ、小林先生はこう言うわけですね。「君は本当はいい子」それはなぜか。トットちゃんの短所ではなく、長所（人間としての魅力）が見えていたからです。「本当はいい子」この言葉は、生涯黒柳さんを支える力となったそうです。

「大人の見方」一つで、子どもの人生が変わってしまう。そういうことだと思います。

柏第八小学校の子どもたち494名。どの子どもにも光るものがあります。成長の可能性を秘めています。（まだ見えないが内に秘めている）子どもたちのよさに光を当て、成長を促す、そんな1年にしたいと願っております。保護者の皆様と手を携えて、かけがえのない子どもたちを大切に
見守っていきたいと思います。本年もご理解ご協力のほどよろしくお願いいたします。



◇ 1月の行事予定

日	曜日	行事予定	日	曜日	行事予定
9	火	第3学期始業式 3校時日課(11:50 下校)	23	火	水泳指導(2, 4年)
10	水	3校時日課(11:50 下校) 身体測定(ひまわり学級, 6年)	24	水	読書ボランティア読み聞かせ(3年) クラブ活動(3年クラブ見学)
11	木	給食開始日 身体測定(3, 4年) 校内書き初め大会(5, 6年)	25	木	なかよし活動
12	金	校内書き初め大会(3, 4年) 身体測定(1, 5年) 図書整備ボランティア 3年ステップアップ学習会	26	金	3年ステップアップ学習会
15	月	新入生わくわく交流会 身体測定(2年)	27	土	柏駅伝大会(柏の葉公園総合競技場)
16	火	校内書き初め展①(8:40~16:30) 1年生凧揚げ(1組) クリーンボランティア	29	月	避難訓練
17	水	校内書き初め展②(8:40~16:30) 読書ボランティア読み聞かせ(2年) 3年東部消防署見学 代表委員会 委員会活動 1年生凧揚げ(2・3組)	30	火	水泳指導(2年)
19	金	3校時日課(12:40 下校) ※市内教職員一斉研修のため	31	水	読書ボランティア読み聞かせ(4年) クラブ活動(最終)

【2月1日(木)の日課変更について】

2/1(木)は、校内授業研究会の実施に伴い、全学年5時間授業となります。下校は14:50です。ご承知おきください。